



和気香風

おおらか さわやか one team 大沢中
～共に築こう 違いを認め合える社会を～

令和2年 6月13日発行

学校が再開しました

6月1日より、市内の小中学校が学校再開となりました。新しい生活環境に慣れるまで多少の戸惑いと不安があったと思われませんが、生徒たちは元気に活動しています。最初の一週間は生徒も教職員もいままでもなく、長く長く感じたようです。大変疲れた様子でした。私は生徒たちの声が学校にこだますると、身体にエネルギーが湧いてくるような感覚があり、生徒たちに生かされていたのだということをあらためて感じ感謝して臨んでいます。しかし、まだ特效薬ができたわけではないので油断はできません。日々変わる状況の中で、何がよいのかを模索しながら早急に決断しなければならないことが多々出てくるかもしれません。そのような折には、学校も最善を尽くしますので、保護者、地域の方々のご協力を賜り、生徒たちの成長のサポートをお願いできればと存じます。今後ともよろしくお願い致します。

あたらしい生活様式へ

◇ソーシャルディスタンスの確保のため



＜アマビエ様をお願い＞



＜水道付近での確保＞



＜集会での確保＞



＜グループ活動での確保＞

感染症対策をしっかりと行って進めていきたいと考えております。それと同時に、熱中症予防対策も重要な時期です。暑さの中でマスクをすると、かなり息苦しいですので、臨機応変に対処していきます。

◇感染対策を講じても

なお感染リスクが高い学習活動

～「学校の新しい生活様式」～文科省より（5/22）

- ・長時間、近距離で対面形式となるグループ学習
- ・近距離で一斉に大きな声で話す活動
- ・近距離で活動する実験や観察
- ・室内で近距離で行う合唱および管楽器演奏
- ・近距離で活動する共同作業等の表現(図工美術)
- ・近距離で活動する調理実習
- ・密集する運動や近距離で組み合ったり、接触したりする運動

再開後間もない時期においてはリスクの低い活動から徐々に実施するようこの行動基準が県の教育委員会からも出されています。学校規模に応じて、各教科で授業内容の入れ替えなどをして子どもたちの学びの保障のため努力をしています。生徒たちもいろいろな制約のなか、よく頑張っております。

今後の予定について

(6月1日時点)

	始業式	終業式
第1学期	4月8日(日)	7月31日(金)
第2学期	8月17日(月)	12月25日(金)
第3学期	1月8日(金)	3月24日(水)

	中学校	小学校
入学式(日)	4月9日(木)	4月10日(金)
卒業式	3月11日(木)	3月19日(金)

本年度の夏季休業日(夏休み)は8月1日～16日までの16日間となります。但し、今後の緊急事態宣言の影響等で変更される場合もありますのでその場合はまたお知らせ致します。

<中学生の近くにいる、ひとりの大人の願いです。>

学校再開までの三ヶ月間、また現在も大沢中学校にご協力、ご支援を頂いておりますことに感謝申し上げます。学校が再開しましたが、中でも中学校3年生は、「中学校生活最後の〇〇〇」のほとんどが中止または縮小となっています。彼らはそれを何とか受け止めて頑張っています。彼らは大人の都合に巻き込まれたかわいそうな犠牲者たちなのではないでしょうか。私はそうは思いたくありません。私は彼らを、3ヶ月間いろいろ我慢し、一生に一度になるかもしれない行事を我慢し、音楽の授業ではみんなで楽しく歌うことも我慢し、しかし、それで世の中の多くの命を救っている誇るべき年代の子たちだと思っています。私にも90歳を超える父がいます。父親が新型コロナウイルスによる肺炎などで床に伏せることなく生活できているのも、多くの小中学生たち、多くの方々の自粛のお陰です。しかし、若さのエネルギーは抑えようとすればするほど溢れ出るときがあります。昔の私たちもそうだったと思います。そのエネルギーの出し方によっては、地域の皆様にご迷惑をおかけしたことが多々あるかと存じます。指導が至らず大変申し訳ありませんでした。ただ、もし可能であれば、彼らを「学校が休業中だから暇をもてあまして地域に迷惑をかけた人たち」ということではなく、やりたいことを我慢しその思いを何とか消化し、そして多くの命を救っているすばらしい若者たちなのだともて頂けたら幸いです。大人たちもそうですが、彼らも初めてのことで戸惑っています。そして、誠に勝手ながら、地域の方々のなかに、命を守るためにいろいろ葛藤し我慢している小中学生のためにできることはないか、と考えていただけた方がいらっしゃいましたら、それだけでも幸いです。感謝申し上げます。そして、それがまた一つのきっかけとなり、学校と地域が連携し、チームとなって小中学生の育成、将来のために手を結ぶことができたとしたら…、この新型コロナウイルス禍を乗り越えた一つの証となるのではないかと考えている次第です。

誠に勝手なことを申し上げ失礼致しました。校長というよりは、若者たちの近くにいるひとりの大人の思いとして受け止めていただければ幸いです。全ては多くの方々の命を守るためです。最後までお読みいただき感謝申し上げます。

今後ご協力、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます

日光市立大沢中学校長 上祢 政夫